

20m020発表記録

準備

28:53

"General" で会議中

17

退出

小

橋

鮎

谷

濱

河

船

関

笠

+3

村

清

中

野

藤

豊

水

北

参加者

名前を入力

招待を共有

橋 橋

藤 藤

野 野

清 清

中 中

松 松

村 村

橋 橋

谷 谷

中 中

候補 (1 人)

近代学校制度と授業の成立

01:09:49 "General" で会議中

制御を要求

参加者

名前を入力

招待を共有

山 山

小 小

松 松

水 水

杉 杉

清 清

船 船

村 村

村 村

谷 谷

中 中

1/1 ページ 673 文字 日本語

100%

19 杉 橋 笠 橋 河

Microsoft Word: 何予書.docx

ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ

MS 明朝 (本文) 10.5pt

あア重 あア重 あア亜 あア亜 あア亜

標準 行間詰め 見出し 1 見出し 2 否題

検索 変換 選択

編集 エディター

共有 コメント

クリップボード

貼り付け

フォント

段落

スタイル

編集

エディター

3) 明治前期にはすでに教育の分野で政策研究がなされていた。

4) 師範学校には兵式体操や寄宿舎、密告制が導入され、軍国化が図られた。

5) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点

ポイント 1) ヘルバルトは近代理念として、内的自由、完全性、好意、権利、公正を掲げた。

2) ヘルバルトは、思考は子供の認識過程に対応して方法的単位という教材論と統一的に捉えていた。

3) 大正期では学校教育は国民教育の徹底が課題とされた。

4) 大正期の新教育では子供の個性、実性の尊重が主張された。

4) 自分の意見

全体の要点

ポイント 1) 江戸時代にはもう子供に対して教育が行われてきた。

2) 日本は文明開化でアメリカなどの外国の教育法を導入した。

3) 大正期では教育というよりは軍隊としての色がつまってきた。

4) 時代によって求められる資質能力は異なると思った。

5) 出典(文献名、url 等)

(1) 文部科学省(2017)、「中学校学習指導要領解説」、pp.1-6。

(2) 文部科学省(2018)、「高等学校学習指導要領解説」、pp.1-6。

(3)

教育方法論 20m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ
班のテーマ (近代学校制度)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

・江戸時代には寺子屋というものが存在していた

・明治の時代では、日本はアメリカの小学校教育を模倣した。

・大正では個性や自由といったことを重視された。

■肯定的 web ()

まとめ ()

・日本は江戸時代から、教育をどのようにはらうか思考をし、決りて外国に求めているわけではなかった。
(か) 明治以降はアメリカの考え、ヘルバルトの考えが導入された。

■否定的 web ()

まとめ ()

・大正期では軍隊の体操やシステムが導入された。
・このため、個性、自由といったものが大事にされた。

■班としての要約

まとめ ()

・江戸、明治、大正と時代が経つにつれ、教えられること、方法などが時代のニーズによって違っている。

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・江戸	・明治	・大正	・寺子屋
・ヘルバルト	・文明開化	・アメリカ	・読書
・近代理念	・内的自由	・完全性	・好意
・権利	・公正	・個性	・自由

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■自分の意見というよりも歴史の羅列になってしまい多少論点はずれてしまった。

授業の定型化

01:11:41

制御を要求

参加者

名前を入力

招待を共有

山山

小小

松松

水水

杉杉

清清

船船

村村

村村

谷谷

中中

+19

橋

河

笠

谷

教育方法論 20m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 2 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ ()

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (明治時代における授業の定型化)

- ・ 森有祐が揚げた 順良親急 威重
- ・ である、三気質やヘルバルト主義の
- ・ 5段階教授法を中核とする体系的な教授術が広く普及した。

■肯定的 web (この時代の授業の定型化)

まとめ ()

- ・ 授業を行って発表や話し合い
- ・ を通じて資質、能力を育成でき
- ・ る

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- 自己の学習活動を振り返って主体的な学びを定規イするとはこの時代に必要であると感じた。

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・ この時代の授業は生徒に興味や関心
- ・ を持たせるために定規イなことを行う
- ・ べりであるがなかなか授業効果が定規イない。

■班としての要約

まとめ ()

- ・ 主体的、対話的であるアクティビティ
- ・ よりよい社会を創るために資質、能力を育成する。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・ 授業の定型化、時代、明治、森有祐
- ・ 三気質、順良親急、ヘルバルト、4段階教授法
- ・ 5段階教授法、3段階教授法、資質、能力、アクティビティ

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- 生徒が学びに対して興味や関心を持ち、体系的に自分の学びに向かい、必要であると感じた。

授業改造の試み

01:29:04

“General” で会議中

制御を要求

参加者

名前を入力

招待を共有

山山

小小

松松

水水

杉杉

清清

船船

村村

村村

谷谷

中中

20mReport... - 保存済み

ファイルホーム挿入デザインレイアウト参考差し込み校閲表示ヘルプ検索

貼り付け

フォント

段落

スタイル

編集

ディクテーション

音声

グループボード

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42 44 46 48 50

教育方法論 第2回

テーマ「授業改造の試み」5頁

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点

第一次世界大戦後の日本は、経済発展とともに、教育政策は天皇制が中心となり、国家主義体制確立のための学校教育の基盤ができていたが、第二次世界大戦からは国家のための教育から「権利としての教育」に理念を変更し、新しいカリキュラムと教育方法の開発が求められた。

ポイント 1 第一次世界大戦後の日本では教育制度の確立と教科書の国家化が国家主義教育の二大柱であり、「国民教育」の徹底が課題であった。

2 大正期の「新教育」は、従来の儒教主義、注入主義、暗記主義的な教育方法の批判と、子どもの個性、自覚性の尊重を主張した。

3 「新教育」では教師は「生徒の模範」として働くことが求められた。

4 第二次世界大戦後の教育方法改革の特色は、戦後の教育体制への批判、文部省の主導によりアメリカの教育が重視・模倣で広まったこと、問題解決学習の登場の三つであった。

(2) 「17 中学校学習指導要領編制」「18 高等学校学習指導要領編制」等から

全体の要点

ポイント 1 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見直しをもって振り返り取り組み、自己の学習活動を振り返って次に繋げる「主体的な学習」が実現できているかという視点。

2 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先習の考え方を手掛かりに考えること等を通じて、自己の考えを広げ深める「対話的な学習」が実現できているかという視点。

3 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いと意欲と気力を発揮したりする能力に向け、「深い学び」の実現が求められているという視点。

1/2 ページ 1232 文字 フォกัส 70%

+19

笠

小

東

谷

豊

参加者

名前を入力

招待を共有

山山

小小

松松

水水

杉杉

清清

船船

村村

村村

谷谷

中中

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (授業改造の試み)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (戦前と戦後の変化)

- ・教育勅語の発布と教科書の国定化が二本柱。
- ・大正期では、自由が主張された。
- ・第二次世界大戦後では、アメリカの教育法を取り入れた。

第一次世界大戦後は、国のため、天皇のために教育を行っていた。第二次世界大戦後は、子どもたちの個性、自由な学びを尊重し、教育を行った。

■肯定的 web (<https://datsugakken.com/category/entry>)

- ・戦前は、戦争の勝利のため、国民は動員された。
- ・教育体制も、国のため、天皇のために行った。
- ・個人の立身出世よりも、国の形成が第一。

テキストと似た様な内容であるが、戦前は、個人の出身など関係なく、国の戦争の勝利のために動員された。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

自分の発表。

■ 5 段階班の自己評価 (3)

■否定的 web (まとめ)

- ・現代の教育は一貫性がない。
- ・戦前の教育は、国のために教育を行って、一貫性があった。

現代の教育内容は、個人の個性を尊重しているのでも、多方向に分散している。昔の教育は、一貫性を持ち、教育内容が似ている。

■班としての要約

- ・戦前と戦後の教育、どちらも良い部分と悪い部分がある。
- ・戦前は国のため、戦後は国民のため。
- ・どちらも国の発展にはつながっている。

どの時代にも、良さはあり、教育内容は、どの時代にも合ったものに変化し、適応してきた。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・寺子屋
- ・教室の機材
- ・ノート
- ・近代学校制度
- ・カリキュラム
- ・アドリブ
- ・教育勅語
- ・戦前学習
- ・一貫教育主張
- ・天皇制
- ・戦時教育計画
- ・新教育
- ・学習法
- ・近代化

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- ・学習指導要領の部分で、まとめられた。
- ・教育方法は多様に変化してきた。

ICT活用例

38:38 "General" で会議中

制御を要求

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議で (25 人) 全員をミュート

北 北
鮎 鮎
河 河
笠 笠
関 関
橋 橋
橋 橋
山 山
小 小
松 松

ICT活用例

1.→単口元口口
自分の地域の特長について人に説明する

2.→テーマ口口
自分の地域の特長について知り、それを他の人に説明できるようにする

3.→ICT 活用のねらい口口
・社会との連携、他校との連携
・今後の必要になる資質・能力の育成(情報活用能力や創造力)
・一方向の授業ではなく双方向の授業の展開

4.→ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面 (自分の地域の特長や産業について知り、プレゼンテーションを行う)	ICT 活用の手順 ○自分の地域について調べたり、市役所などに問い合わせたり ・4～5人グループで行う ○調べたことについてまとめる ・ICTを使って発表できるようにPowerPointなどにまとめる ○発表 ・まず校内(クラス内)で発表する ・面白い視点で調べられたものや、自分の住んでいる地域に関してよりわかりやすくまとめているものを他校や地域のの人に発表する場を作る ・他校に発表する場合、相手の学校の地域の特長などについての発表も聞く ・イメージ図など ・他の学校とICTを使って授業をしていくことで、今後社会で必要になる表現力やプレゼンテーション能力などが鍛えられる ・他校の生徒と意見などを出し合いながら授業をしていくことで自分の住んでいる地域にもより興味を持ち、地域と教育の連携ができるようになる。また、他の教科においても、ICTを活用することで社会の変化に対応した資質・能力が鍛えられる	○他の学校と会場で発表する場合、早めの準備と確実なネット環境が必要 ○クラスでの発表の際は調べる前に他の班と調べる内容がぶつかりやすいか確認したうえで調べていくとよい

履修口口
使用教科書「・・・」(○○社)

豊 鮎 橋

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT活用)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

自分の地域の特徴について人に説明

調べ学習して、プレゼンテーション。自分の単元で使用する。

小学校 5年 算数

四角形と三角形の面積

■目標・内容・指導の概略等

調べ学習 → プレゼンテーション

自分の地域について調べる。(地域や生物について考えを述べよう)

三角形と平行四辺形の面積の比が $1:1$

になることを視覚的にみる。

導入 → 展開 → まとめ

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

ICTを活用して、授業をする。より発展させることが出来た。また、コンピュータを視覚に利用する点がある。また、4年生に使用すると、補助的に使ってもらえる。また、2年生に使用すると、補助的に使ってもらえる。

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ 他地域との連携が出来るといい。

・中 → デジタル教科書がある。

・いろんなことに取り組むように ICT。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

・今後、必要となる。プレゼンテーション能力、表現力が高まる。

・社会の変化に対応した資質・能力が高まる。

・初めは、かんたんなものから、電子黒板にうつしていく。

・教材は、家庭学習に使用する。

・デジタル教材が存在するが、まだ問題が多い。

■工夫した点、出典等

・地域との教育の連携が可能になる

・他学校との合同授業

・簡単に例として ICT を用いて説明する。

・児童生徒が電子黒板に興味関心を持ってもらえるように、トピックを提示する。

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを 3 つ取り上げ、説明せよ。

■ ICT活用

・デジタル教科書

・TVプレゼンテーション

・ICT活用は、通信技術を活用した、コミュニケーションのこと。

・デジタル教科書は、デジタル機器や情報端末向けに作られた教材のこと。

・プレゼンテーションとは、コミュニケーションの手段のこと。

確認問題01

01:55:09

制御を要求

👤

💬

👋

⋮

📹

🔊

📶

🔴 退出

General で会議中

🔍 📄 📌 🔄 🗑️

🔗 編集と作成 📄 共有 📄 ⋮

参加者

名前を入力

🔗 招待を共有

👤 村

👤 谷

👤 中

👤 中

👤 東

👤 藤

👤 豊

👤 北

👤 野

👤 清

👤 候補 (1人)

👤 +18

👤 豊

👤 清

👤 貼

👤 中

👤 野

📄 確認問題1

(1) 現代の学校はどのようにして設立されたか。

近代国家
(18世紀後半 ~ 19世紀前半)

(2) 教育制度の歴史を述べよ。

学齢と集団と家庭の分離と結合の「格差」
と「階級」の「取組」の中で「格差」を
与える「格差」の「格差」を「格差」
と「格差」の「格差」を「格差」
と「格差」の「格差」を「格差」

(4) 教育方法の4つの要素を構成する3つの要素を挙げ、そのうち1つについて簡潔に説明せよ。

- ・ 1. 学習者
- ・ 2. 学習環境
- ・ 3. 学習方法 (インストラクション)

学習者・学習環境・学習方法の3つは、
能力・学習環境・学習方法の3つは、
学習者・学習環境・学習方法の3つは、
学習者・学習環境・学習方法の3つは、

各班ワークシート (確認問題まとめ)

- 1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問1

近代国家

(18世紀後半～19世紀前半)

■問2

学力と集団と発達 の保障とは、学力の「伸ばし」や「伸ばさず」に取組む中で本物の学力を全ての子どもに身につけさせること。

暴力や「いじめ」、不登校に現れた子どもたちの「バ」と生活」とある問題状況に直面して、

「自己肯定感」や自治能力の形成とあること。

「障害児教育」から提起された発達保障に取組む。

- 2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと
思ったことをのべよ。

■ 教育は生活の結合、科学の結合、
学力と集団(自治)と発達の保障の三つの
課題がある。また、教育方法のイデオロギイは
リベリズム、ヒューマニズム、ロマンチズムの三つが
ある。

- 2*) 問題全体を通して見て、気づいたことをのべ
よ。

■ 学校では、児童生徒が集団で生活している。
その中で子どもたちが「バ」と生活とある
問題状況に直面して、自己肯定感や自治能力
を伸ばすために、教師が子どもたちにもっと
寄り添う必要があると考える。

■問3

- ・学力と集団(自治)と発達の保障
- ・教育と科学の結合
- ・教育と生活の結合

■問4

- ・リベリズム
- ・ヒューマニズム
- ・ロマンチズム (イデオロギイ)

ヒューマニズム

- ・貧富や出自や性別に差別、月族や人種による分断

能力による選別などによる分断。

弱者の視線から教育の在り方を
構想する。

復元力による教育方法論は、ありとあらゆることではない。

例) 「つまぎきとさす授業」

- 2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ
いて、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 初めに確認問題に取り組んで、第1回目の授業
で他班の発表を見て、復習をするが不安
でいたが、改めて確認することになった。
また、概念図で簡易的に復習をした。